



新聞で振り返る

3.11

気仙沼市

2011.3.23 掲載

気仙沼市中心部北東の鹿折地区。津波に加え、2日間にわたって燃え続けた火災が地区に壊滅的な被害を与えた。津波は、海岸から1.5キロ離れた国道45号まで押し寄せた。その後、火災が起きた。火は、JR大船渡線の鹿折唐桑駅前一带を包んだ。今も焦げ臭さが覆う。

猛火が天を焦がした



気仙沼鹿折
夜通し爆発音
なすすべなく

気仙沼市中心部北東の鹿折地区。津波に加え、2日間にわたって燃え続けた火災が地区に壊滅的な被害を与えた。

JR大船渡線の鹿折唐桑駅東側。焼け落ちた住居の残骸で覆い尽くれていた。22日午後2時ごろ、気仙沼市港

津波は、海岸から1.5キロ離れた国道45号まで押し寄せた。その後、火災が起きた。火は、JR大船渡線の鹿折唐桑駅前一带を包んだ。今も焦げ臭さが覆う。

住民の村上忠興さん(65)は火災を目撃した。押し流された建物が集まり、3階ほどの高さになり、火が燃え上がったという。「小さな火が燃え、天を焦がすほどになった。ボンベが夜通し爆発し、避難住民はなすすべもなかった」と村上さん。市が安全を確認できないほどの被害を受けた現場で、大切な人の手掛かりを探し回る人の姿が絶えない。

行方不明になっている同市の会社員小山司さん(28)は、ここで配信中に被災した可能性がある。母親(5)が司さんが乗っていた白いトラックを探していた。「避難所もすべて探した。かすかでも息子につながるものがあれば、口をタオルで覆いながら、がれきの中をかき分けたい」

子 (高橋鉄男、丹野穂子、橋本智)



三陸沿岸の「動脈」寸断
大橋消滅 廃材が散乱

新聞で振り返る

3.11

南三陸町

2011.3.16 掲載

町民約1万8000人のうち、8000人と連絡が取れない宮城県南三陸町。太平洋にせり出し、甚大な津波被害を受けた歌津地区に15日、被災後、初めて入った。伊里前湾に架かる長さ約500メートルの巨大な歌津大橋は、橋脚を残してほとんど流されていた。



石巻一変街の顔浸水 市民ぼうぜん

新聞で振り返る

3.11

石巻市

2011.3.14 掲載

東日本大震災の発生から3日目の13日、大津波に襲われた沿岸の拠点都市、石巻市の中心市街地に入った。壊滅状態の街並み、道路を寸断するがれきの山…。街を覆った黒々とした水はようやく引きつつあったが、すっかり変貌した街のあちこちで、市民がぼうぜんとして立ちすくんでいた。



「全部なくなった」



気仙沼

胸まで水死を覚悟
悪夢の夜温かさ知る

新聞で振り返る

3.11

気仙沼市

2011.3.13 掲載

白々と悪夢の夜は明けた。湾内の空を赤々と染めた火柱は消えていたが、太陽の下にその悪夢の景色はやはりあった。

一つの街の区画がそっくり焼け焦げていた。それがかつて何であったか不明のがれきの山が、車道をふさいでいた。乗用車や保冷車は好き放題に転がり、土砂に埋もれ、川に突っ込んでいた。



生産再開見通せず

設備破損、燃料不足...



東日本大震災東北の企業巨撃
仙台港周辺がれきの山

新聞で振り返る

3.11

仙台市

2011.3.27 掲載

敷地内にある工場は7棟。外壁には津波とともに押し寄せた大型トラック、コンテナが食い込み、どの棟の内部にも無数のがれきや乗用車が流れ込んでいる。

浸水は2階建て本社の1階天井部分まで達した。敷地内にいた従業員は全員避難して無事だったものの、業務で外出中の女性1人が亡くなった。



新聞で振り返る

3.11

東松島市

2011.3.19 掲載

震災以来、大量の土砂や流木に阻まれ、立ち入ることのできなかった東松島市野蒜地区に18日、向かった。海岸から約1キロ離れた野蒜小の校舎に車が突っ込んでいる。道路脇はがれきの山だ。



住み慣れた家無残
あふれる土砂言葉失う



新聞で振り返る

3.11

名取市

2011.3.12 掲載

11日午後2時46分ごろ、三陸沖を震源とするマグニチュード(M)8.8の地震があった。気象庁によると、関東大震災のM7.9などを上回り、1923年に日本で近代的な地震観測が始まって以来最大。東北から関東にかけての広い範囲で津波や火災が発生した。



宮城 震度7 大津波

M8.8 国内最大
死者・不明者多数